



教育研究所だより

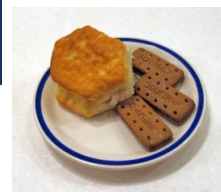
平成30年10月17日 発行

No.16

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

TEL 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>



【平成30年度】

クッキーとビスケット。見た目は同じようですが、実は厳密に区別されているということです。どちらも、小麦粉に卵、牛乳、砂糖、バターなどを加えて焼いた物ですが、クッキーは糖分と脂肪分の合計が40%以上のものをいい、ビスケットは40%未満のものをいうそうです。このきまりは「公正競争規約」と呼ばれていて、1971年に定められたそうです。お菓子だけを出されるとクッキーかビスケットか見た目ではなかなか分かりませんが、まあ、どちらでもおいしければそれでいいかもしれませんね。当時、クッキーはビスケットよりも高価なお菓子で、安価なビスケットをクッキーと呼ばないよう、このような規定が設けられたそうです。

社会科研修会



9月19日(水)、社会科研修会が開催されました。講師は佐沼中学校長の小野寺文見先生です。

小野寺校長先生には昨年度もこの研修会の講師をしていただきました。たくさんの貴重な資料も準備していただきました。

<講師の小野寺先生>

小野寺先生からは、授業づくりの大切さやそのポイント等について社会科の授業と関連させながら、非常に分かりやすくお話をされていました。また、授業づくりに関する資料集もいただきました。

◇ 料理づくりと授業づくり

- 食べてほしい人を知る・・・児童・生徒の実態把握
- レシピ・・・指導要領
- どんな食材・・・教材
- 下ごしらえ・・・教材研究
- 五感を使って味わう・・・五感を刺激する工夫(指導の工夫)
- 料理道具と調理の腕・・・日々の努力が大切



◇ よりよい授業をつくるために(社会科も使える教科に)

- 課題・ねらい・・・学習の道筋とゴールが見える課題・ねらい
- 実態把握・・・「実態を知らずして授業はならず！」
- 学習意欲・・・「学ぶ楽しさ」「解決した喜び」の実感を
- 教材・教具・・・身のまわりにはたくさんの教材・教具
よい教材を生かすも殺すも教師次第
- 指導方法・・・子どもの学ぶ姿をイメージした指導方法
- 発問・・・子どもがもつ多様な考えや思いをよりよいものに
- 板書・・・黒板は教師が描くキャンパス
- 評価・・・子どもの成長と変容を見取る評価に
- 学習規律・・・授業に臨む姿勢(当たり前のことが当たり前)
- 学級づくり・・・全ての基盤は学級(日々の積み重ねが大切)
- 教育課程の接続と共同研究・・・「三人寄れば文殊の知恵」

児童・生徒への深い愛情と理解を！！
指導力人間力の向上を！！

<参加者の感想(抜粋)>

- 今回いただいた研修を糧にし、自分自身楽しみながら分かりやすい授業づくりに努めていきたい。
- よりよい授業のためのヒントを数々教えていただいた。文見先生の生き生きとした姿に大いに刺激を受けた。
- 貝塚から分かることなど、一つの資料からいろいろな見方ができるなど興味深く学ぶことができた。
- 小さい頃から社会が好きで、この仕事に就いてから、社会の研修・研究に取り組むことが多い。社会の授業は楽しくをモットーに取り組みたい。

No.15の答え

「NOON」です。簡単でしたよね！？

第3回カウンセリング研修会



9月21日(金)、第3回カウンセリング研修会が開催されました。講師は当教育研究所専門カウンセラーの西野美佐子先生です。

また、今回が最後のカウンセリング研修会となりましたので、3回とも受講された方々に修了証が授与されました。

<講師の西野先生>

西野先生からは「保護者対応の技法と実際」と題して講話をいただき、後半はカウンセリング演習をしていただきました。

◇ 母親が保育者に援助を求めにくい理由

- 保育者に対する遠慮 ○ 保育者の忙しさや負担に配慮した遠慮
- 子どもの問題が多いほど具体的な対応を希望
- 保育者に子どものことを話すことにより、自分が否定されるという不安

◇ BEING-FOR(YOU):味方になる

- 保護者と保育者が一緒になって「私たちの問題」
- 4種類のサポート
 - ・情緒的サポート～声がけ、励まし、なぐさめ、見守り
 - ・情動的サポート～ヒント、ガイドブック
 - ・評価的サポート～よいところ、悪いところの指摘
 - ・道具的サポート～具体的な解決策の提案



◇ BEING-WITH(YOU):人間として関わる

- あなたと私が一人の人間として共に生きる
- あなたにはあなたの生き方がある、私には考えや生き方がある
 - ・自己開示 ・自己主張 ・対決(直面化)
 - ・相手の人生を尊重、価値観を押しつけない

◇ 3層の支援手立て

- 一時的援助(発達促進, 予防的援助): 援助ニーズ 小
 - ・入所説明会, 園だより等～全ての保護者, 地域の子育て家庭
- 二次的援助(早期発見, 予防的援助): 援助ニーズ 中
 - ・登園しぶり, 忘れ物, 欠席しがち等～一部の気がかりな保護者
- 三次的援助(チームによる援助, 個別計画): 援助ニーズ 大
 - ・不適応行動, 病弱, 虐待等～特定の支援・配慮を要する保護者

◇ カウンセリング演習

- 傾聴, ライフライン, フレーミング技法, Iメッセージ

以上、講話内容の一部を紹介しました。参加者の感想には「学んだことを一つでも実践したい」「保護者の思いを少しでも受け止めたい」「Iメッセージは難しかった」などが多くありました。

頭の体操コーナー

- A 長野 富山 岐阜 ある基準で都道府県を左のように分類
京都 福島 千葉 しました。このとき、宮城はA, Bのどちら
らに入るでしょうか。(理由も答えて)
- B 北海道 神奈川 栃木
石川 沖縄 岩手 答え _____ 理由 _____